

富山県 中央植物園だより



サザンカ *Camellia sasanqua* (ツバキ科)

四国西南部、九州（種子島、屋久島を含む）琉球の暖帯に分布し、材は楽器や彫刻の版、そろばんの珠などに利用されます。ツバキと同様に種子からは油が採れます。

植物写真展 「ガラスの花びらに」 撮影 / 山本真智子さん



英名は〇〇〇〇〇のはさみ。さて何のはさみ？

答え：ロブスター

ヘリコニア・ロストラタは英語で hanging lobster claw (ぶら下がったロブスターのはさみの意) という名前が付いています。鮮やかな赤色がまるで茹でたてのカニの爪のようですね。爪のような部分は花を包む苞というもので、爪の間から花が咲きます。このド派手な色は、うっそうと茂る熱帯雨林の中で花粉を運ぶハチドリに気づいてもらうためと考えられています。当園では熱帯雨林植物室に展示していますので観察してみてください。

Reports イベント報告

開園 30 周年記念行事

10月1日(日)の開園記念日に特別展「富山県中央植物園の30年」の関連行事として、開園時の入園券を用いたしおり(絵柄はボタニカルマガジン第1巻第1図版イリス・ペルシカ)を入園記念にお配りしました。これは9月末に「14



これからもたくさん遊びに来てくださいね

歳の挑戦」で富山市立城山中学校の生徒さんに作っていただいたもので、入園者に好評でした。また、植物園と同じ平成5年10月1日生まれの浅井多聞さん(写真左)にボタニカルマガジン複製

画、ラグラスのリースなどの記念品をプレゼントしました。同月6日(金)の記念式典では、イギリスから導入したサクラの植樹や当園の運営に貢献



スタッフ渾身の作が式典に花を添えました

して下さった方々への感謝状贈呈、西川綾子氏(公益社団法人日本植物園協会会長)による『これからの植物園』と題した講演会が行われました。無事に30周年を迎えられたことを嬉しく思うと同時に、これからもたくさんの方に愛される植物園でいられるよう、植物たちと共に成長していきたいと感じる年でした。(西村幸芳)

第6回秋のサボテン・多肉植物展

11月3日~5日に「富山サボテン会」との共催により、秋のサボテン・多肉植物展を開催しました。「富山サボテン会」



メセン類は鮮やかな花も魅力のひとつ

の作品およそ200点が展示されたほか、「ステキナモヨウ」を特集テーマタイトルとして、砂や小石に擬態するために不思議な模様をもつトープス属やコノフィツム属などのメセン類、宝石のよう

に美しく繊細な模様をもつハオルチア属やハオルチオプシス属、表面のしわやイボがユニークな模様をなすアストロフィツム属、ペレキフォラ属をはじめとするサボテン類



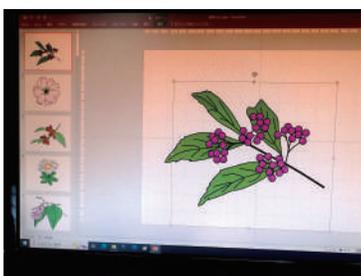
白銀の葉が美しいプロメリア類

など、ユニークな模様や美しい模様が特徴的なサボテン・多肉植物を集めたコーナーを設けました。不思議な姿かたちに多くの方が見入っていました。(西村幸芳)

Topic 植物園裏話

みごろの植物のごあんないリニューアル

入園口で手渡される水色の紙「みごろの植物のごあんない(通称「みごろ」)」は、広い園内で旬の植物を楽しんでいただくため、配布している散策マップです。毎週担当の職員が植物をチェックして、マップを作成して印刷をして…という制作過程は、以前の植物園だより(第98号)でも紹介しま



絵は各担当が好きな方法で描いています

したが、最近「みごろ」のデザインが変わったことにお気づきでしょうか?

実は少し前から、「みごろ」が文字ばかりで見づらい、という意見が出ていました。花や実をつける植物が多い時期は、どうしても文

字が多くなってしまいます。だからと言って、せっかく咲いて(実って)いる植物



昨年の「みごろ」(左)と現在の「みごろ」(右)

の情報を削るのももったいないですし、「〇年〇月〇日に〇〇が咲いていた」という情報は、後々データとしても重要な可能性があります。どうか情報を減らさずに見やすくしようと、まず文字の書体を変えてみました。それでもまだ見づらいので、植物の位置を示す点を花と実それぞれのマークに変更。さらに、その週の特におすすめの植物は、文字を大きい太字にしてイラストもつけることにしました。各週の担当が頑張っ

て描いています。ぜひ、植物園散策のお供にリニューアル版「みごろ」をご活用ください!

(和久井彬実)

News 園内ニュース

開園 30 周年を記念して、新たなサクラが仲間入り

開園 30 周年記念式典中では、園内に新たに造成した「海外のサクラコーナー」でサクラの記念植樹が行われました。‘ダイコク’、‘墨染’、‘ザ・ブライド’、‘ヒリエリ’ およびマメザクラ ‘ミキノリ’ の 5 品種ですが、いずれも 2012 年から当園と交流を行っているオックスフォード大学植物園・樹木園の協力により 2019 年にイギリスから導入したもので、国内では当園でしか見られない貴重なものです。中でも ‘ダイコク’ は八重咲きの花が咲く豪華な品種で、著名なサクラ研究家であるコリングウッド・イングラム (1880 ~ 1981) が戦前に日本からイギリスに導入しました。日本ではその後絶滅してしまい、

彼はこの品種を日本に戻そうと計画しましたが、果たせず終わっています。今回植樹された木が開花し、再び日本で美しい花をご覧頂ける日を楽しみにお待ちしております。



(大原隆明) ‘ダイコク’の花

Events 注目イベント

「私の植物写真展」

1月12日(金) ~ 2月21日(水)

今年で 26 回目となる「私の植物写真展」は、当植物園内で撮影した植物に関するものであればどのような被写体でも受け付けており、これまでに花だけでなく果実や樹皮、葉などを撮影した力作を応募いただいています。富山県写真家協会に協力いただき、作品の中から富山県中央植物園長賞、富山県写真家協会会長賞など



表紙もじっくりご覧あれ

を選出し、本案内の表紙の写真にも採用しているほか、企画展終了後も 1 年間ドリアスホールに展示しています。

(志内利明)

第 20 回雪割草富山県大会

3月8日(金) ~ 10日(日)

雪割草はミスミンソウ (キンボウゲ科) などの園芸名で、早春の落葉樹林内で雪解けを待ちかねて咲くことにちなみます。北陸地方はオオミスミンソウが広く分布し、野生でも花の色が白、ピンクなど



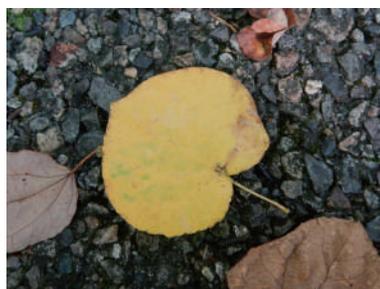
色も形もさまざまな雪割草のかれんな花

バラエティに富んだ性質を利用して交配が行われ、様々な花色、花形の園芸品種が作られてきました。当園では、富山雪割草の会と共催で雪割草富山県大会を開催しています。春を告げる可憐な雪割草をどうぞお楽しみください。(吉田めぐみ)

Note 園内さんぽ

秋のひそかな楽しみ

秋はサンシュユなどの赤い実、サワフタギの青い実、紅葉



これくらいの色の落ち葉がおススメ

などカラフルで目に楽しい季節ですが、私の個人的な楽しみは、カツラの落ち葉の匂いをかぐこと!これが何ともよい匂いなのです。例えるならば、べっこう飴、綿菓子、焼き芋...?香りの主成分

はマルトールで、砂糖を使ったお菓子を作る過程でも生成される物質です。マルトールは葉が緑のときには少なく、黄葉、紅葉となるにつれて含量が多くなります。落ち葉が多い時はあたり一面に香りが漂います。沼沢・深谷の植物エリアに植栽されていますので、ぜひ拾って香りをかいでみてください。(西村幸芳)



Event Schedule

※イベント参加には入園料が必要です。高校生以下・70歳以上無料。
※日程・内容などが変更になる場合がございます。最新情報はHPでご確認ください。

企画展・特別開園

1 5 (金) → 8 (月・祝)	第11回新春カトレヤ展 会場：サンライトホール
1 12 (金) → 2 21 (水)	私の植物写真展 会場：サンライトホール
1 26 (金) → 2 21 (水)	令和5年度植物園研究発表展 会場：サンライトホール
2 23 (金・祝) → 25 (日)	第11回クリスマスローズ展 会場：サンライトホール
3 1 (金) → 3 (日)	第52回富山県蘭まつり大会 会場：サンライトホール
3 8 (金) → 10 (日)	第20回雪割草富山県大会 会場：サンライトホール
3 22 (金) →	サクラの企画展(仮) 会場：サンライトホール

月例行事

植物ガイド

第1, 2, 4, 5日曜日：ボランティアと歩く植物園

第3日曜日：園長と歩く植物園

13:30～14:00 集合場所：サンライトホール

講演会・講習会・観察会

1 28 (日)	令和5年度植物園研究発表会 会場：サンライトホール 13:00～16:00
2 24 (土)・25 (日)	栽培講習会 「クリスマスローズの栽培と管理」 会場：ドリアスホール 14:00～15:30
3 2 (土)・3 (日)	栽培講習会「ランの栽培と管理」 会場：管理研修棟 研修室 10:30～12:00・14:00～15:30
3 9 (土)・10 (日)	栽培講習会「雪割草の栽培と管理」 会場：ドリアスホール 14:00～15:30

その他

1 6 (土)	散らないサクラカードの配布 会場：サンライトホール 9:00～(先着300名)
---------	---

＊カードは無料ですが、入園料(大人300円、高校生以下・70歳以上無料)が必要です。

＊数に限りがあるため、1回の入園につき1枚とさせていただきます。
もう1枚入手したい方は、再入園(当日限り無料)して下さい。

入園案内

[開園時間] 2月～10月 9:00～17:00(入園は16:30まで)
11月～1月 9:00～16:30(入園は16:00まで)

[休園日] 毎週木曜日
4月第1, 2とGW、お盆、祝日の場合は開園
年末年始(12月28日～1月4日)

[入園料] 大人500円/団体(20名以上)400円
冬期(12月～2月)ー大人300円/団体240円
年間パスポート(購入日より1年間有効)2,100円
高校生以下・70歳以上は通年無料

[交通案内]

バス：富山地鉄バス JR富山駅から「ファボーレ経由菟の島循環」
または「ファボーレ経由速星行き(休日のみ)」に乗車し、
「中央植物園口」下車、徒歩約15分

車：富山市中心部より約15分
北陸自動車道富山ICより約15分
JR速星駅より約8分

友の会 会員募集

[特典] ①友の会会員証で無料入園
②月例会やバスツアーなど会員限定行事への参加
③「友の会会報」と「植物園だより」を年4回お届け
④メールで最新情報をお届け
⑤印刷物やグッズの割引価格購入
⑥部会活動への参加

[年会費] ※有効期限は入会日から翌年3月31日まで
一般会員/2,500円
シルバー会員/1,500円(4月1日時点で70歳以上の方)
ジュニア会員/500円(4月1日時点で高校生以下の方)
賛助会員/20,000円(一口)

[入会のお申込み]

入園口で直接、もしくは専用郵便振替用紙にて郵便局でお手続きください。
詳しくはホームページをご覧ください。

富山県中央植物園だより No.110

令和5(2023)年12月25日発行

編集・発行/富山県中央植物園

(指定管理者：公益財団法人 花と緑の銀行)

〒939-2713 富山市婦中町上轡田42 TEL 076-466-4187



<https://www.bgtym.org/>



公式 Instagram